

放課後子供教室・南部地区

鴻巣市小谷小学校放課後子ども教室

活動場所	図書室、特別教室、畑 多目的教室、体育館、校庭、	参加者数	登録児童数	42人
参加対象	1～6学年		1日平均 参加者数	27人
連携団体	保護者ボランティア、地域ボランティア			
プログラム例	ダンス、陶芸、木工、絵画、茶道、書道、サイエンスショー、ベル、ものづくり（折り紙、切り紙、押し花アート、科学工作）スポーツ将棋、学び（自然体験、算数、英語、科学、防災）			
特徴的な活動 内容と成果	開設してから10年を迎え、小規模校であるが全児童の半数が登録している。 月曜日は体験の場、水曜日は学びの場として、複数のプログラムから各自が選択して参加している。体験ではスタッフに仕上がった作品を見せながら嬉しそうに説明する姿が見られる。学びでは、畑での野菜の種まきから収穫までの自然体験やネイチャーゲームを楽しむ姿、算数の問題に取り組む姿、英語でゲームを楽しむ姿が見られる。また、学年を超えて同じことに取り組むことで交流が図られている。 スタッフの方々も積極的に関わっており、見守りや作品づくりの手伝いを通して児童との様々な会話を楽しんでいる。また、お迎え時に保護者へ児童の様子を伝えるなど、保護者との良い関係を構築している。			



お茶のお作法を教わりました
月曜：茶道教室



大きくなってね、ブロッコリー
水曜：自然体験

鴻巣市基本情報

運営委員会名	鴻巣市放課後子ども教室推進事業運営委員会		
構成役職 (合計23名)	実施校の校長代表者4名、実施校のPTA代表者1名、放課後子ども教室コーディネーター14名 放課後児童クラブ代表者2名 市関係課職員2名		
検討内容	・放課後子ども教室の実態把握 ・事業計画、安全管理、広報活動等について ・事業実施後の検証および評価 等		
放課後子供教室 実施数	17教室 児童クラブとの連携情報 連携型 16教室 (内、校内交流型 9教室) 参考：放課後児童クラブ 24箇所		
対象学校区	17校	平均開催日数	23日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	14人
登録児童数	939人	ボランティア数	339人
平均参加児童数	45人	1日当たりの 平均スタッフ数	13人/教室

放課後子供教室・南部地区

上尾市・原市公民館放課後子供教室教室

活動場所	上尾市立原市公民館	参加者数	登録児童数	32人
参加対象	原市小学校全学年		1日平均参加者数	16人
連携団体	公民館活動サークル、子どもの読書支援センター等			
プログラム例	読み聞かせ、囲碁、スポーツ、工作、手芸等			
特徴的な活動内容と成果	本市では、放課後の子どもに安心・安全な活動場所を確保し、公民館を活動場所とする地域の大人たちに協力を得て、様々な学習や体験活動に取り組むことにより、大人や子ども同士の交流を育み、地域社会での生涯学習環境作りを推進する目的で放課後子供教室を開催している。 原市教室では、週2回実施する教室の参加児童を学年で分けており（1、2年生と3年生以上）、様々な知識や技術を持つ地域の指導者等を多方面から「特別講師」として招き、講座を実施している。同じ講座であっても学年に応じて構成に工夫することでより充実した学びの成果が生まれている。 また、子どもの読書支援センターが講座を実施することで、社会教育施設や関係各課との連携も推進された。			



〔囲碁を体験しよう〕



〔あげお郷土かるたを楽しもう〕

上尾市（町村）基本情報

運営委員会名	上尾市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 ○名)	・公民館運営委員会委員 2名 ・小学校長 1名 ・放課後子供教室コーディネーター 2名 ・公民館長 6名 ・生涯学習課職員 3名		
検討内容	・今年度の活動報告 ・安全管理 ・地域協力者の確保 ・翌年度事業の活動計画（予定）		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 連携型 2教室 （内、校内交流型 0教室） 参考：放課後児童クラブ 40箇所（47クラブ）		
対象学校区	2校	平均開催日数	54日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	58人	ボランティア数	21人
平均参加児童数	26人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・南部地区

草加市・新里小放課後こども教室にここに				
活動場所	新里ルーム 家庭科室 校庭（体育館）	参加者数	登録児童数	1 1 5 人
参加対象	1 ～ 6 学年		1日平均 参加者数	7 9 人
連携団体	—			
プログラム例	宿題・ボール遊び・昔遊び・お絵かき・ボードゲーム等			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、毎週水曜日の放課後に、小学校等の施設を使用し、こどもたちの安全・安心な居場所を設け、こどもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために行っている。 教室活動中のプログラム等は設けず、宿題の部屋、あそびの部屋、校庭（体育館）からこどもたちが自由に選択して活動している。 また、放課後児童クラブとは、校庭を合同で使用している。			



〔室内あそび〕



〔校庭遊び〕

草加市基本情報			
運営委員会名	草加市放課後こども教室推進事業 運営委員会		
構成役職 (合計 14名)	放課後こども教室代表者3名、放課後児童クラブ代表者2名、社会教育関係代表者1名、児童福祉関係代表者1名、草加市PTA連合会代表者1名、地域住民代表者3名、学校関係代表者1名、市職員2名		
検討内容	・事業計画の策定、安全管理方策の調査及び検討 ・広報活動方策の調査及び検討 ・ボランティア等地域協力者の人材確保方策の調査及び検討 ・事業実施後の検証・評価、放課後児童健全育成事業との連携の検討 ・その他事業の運営に関し必要な事項		
放課後子供教室 実施数	21教室 児童クラブとの連携情報 連携型 21教室 (内、校内交流型 20教室) 参考：放課後児童クラブ 39箇所		
対象学校区	21校	平均開催日数	34日 ／教室
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	17人
登録児童数	2, 128人	ボランティア数	229人
平均参加児童数	225人	1日当たりの 平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・南部校区

蕨市 西小学校区 放課後子ども教室				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	113人
参加対象	1 ～ 6 学年		1日平均参加者数	56人
連携団体	—			
プログラム例	宿題、各種工作教室、自由遊び等			
特徴的な活動 内容と成果	本教室では、子供たちの安心・安全な居場所づくりと交流活動や様々な体験・学習活動などを進めている。 容と成果 宿題、各種工作教室、自由遊び等を通して普段交流のない異学年との交流を行う機会を提供することが出来た。			



〔輪投げ〕



〔ボール入れ〕

蕨市（町）基本情報			
運営委員会名	蕨市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 ○名)	開設校の校長の代表者1名、各校区ごとの実行委員会の代表者7名、民生・児童委員の代表者1名、スポーツ又は文化関係団体の代表者2名、留守家庭児童指導室関係者1名、社会教育委員の代表者1名、PTAの代表者1名（14人）		
検討内容	(1) 実施状況について (2) 事業計画の策定 (3) その他放課後子ども教室の運営に関し必要な事項		
放課後子供教室 実施数	7教室（平年時） 児童クラブとの連携情報 連携型 7教室 （内、校内交流型 7教室）		
対象学校区	7校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	7人
登録児童数	550人	ボランティア数	7人
平均参加児童数	77人	1日当たりの 平均スタッフ数	16人/教室

放課後子供教室・南部地区

戸田市・戸田第二小学校 放課後子ども教室				
活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	53人
参加対象	1・2学年		1日平均参加者数	25人 ※学年毎に開催
連携団体	—			
プログラム例	宿題、昔遊び、工作、ボール遊び、読み聞かせ			
特徴的な活動 内容と成果	前半の時間で工作の時間を設け、七夕飾りやハロウィン、クリスマスツリーの作成など季節に応じたプログラムも実施しており、児童が飽きないような取り組みを実施することで、児童も興味を持って積極的に参加している。 後半の時間では体育館や校庭に行き、ボール等を使った運動を行うことで、児童の体力づくりを行っている。 その後、児童のお迎えの時間まで、絵本や紙芝居による読み聞かせをしている。 児童が手作りの工作による作品を放課後子ども教室に登録していない児童が見て羨ましがり、その状況が反響を呼び、その後、追加で登録する児童が発生している。 また、保護者からも活動内容について、好評である。			



〔工作〕



〔読み聞かせ〕

戸田市基本情報			
運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	学校関係者（小学校長）1名、PTA関係者2名、社会教育関係者2名、地域住民（放課後子ども教室コーディネーター）2名、行政関係者（教育政策室担当課長）1名		
検討内容	・放課後子ども教室の実態把握 ・スタッフ募集のための広報活動 ・コーディネーター・安全管理員向けの研修		
放課後子供教室 実施数	12教室 児童クラブとの連携情報 12教室 ・公設公営は校内交流型、民設民営は連携型 参考：放課後児童クラブ 公設公営12校20室、民設民営28室 公設民営2室		
対象学校区	12校	平均開催日数	20日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	11人
登録児童数	466人	ボランティア数	のべ162人 (複数の教室の参加者あり)
平均参加児童数	26人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・南部地区

朝霞市・オリジナル絵本を作ろう

朝霞市・オリジナル絵本を作ろう				
活動場所	教室	参加者数	登録児童数	18人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	16.0人
連携団体	オリジナル絵本作りを普及する有志			
プログラム例	オリジナル絵本を作ろう（全3回）			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、「夏休み期間中にも子どもの居場所を」という市民の要望を受け、例年秋冬に実施している、土曜日の教育支援に加え、夏休み期間中の平日を利用して、全6か所で放課後子ども教室を実施したうちの一つである。 教室内容としては、2日間は夏休みの宿題や課題等を自主的にを行い、3日間はプログラム提供型の教室という内容で、子どもたちでそれぞれ登場人物やストーリーを決めたうえでオリジナル絵本を作成した。			



〔オリジナル絵本を作ろう〕



〔オリジナル絵本を作ろう〕

朝霞市基本情報

運営委員会名	朝霞市放課後子ども教室実行委員会		
構成役職 (合計10名)	・朝霞市小学校長（6名） ・朝霞市保護者代表連絡会（1名） ・朝霞市子ども連合会（1名） ・朝霞市青少年育成市民会議（1名） ・朝霞市教育委員会生涯学習・スポーツ課（1名）		
検討内容	・前年度の実施報告及び評価 ・今年度の実施予定内容 ・年間スケジュール 等		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 連携型 0教室 参考：公設放課後児童クラブ10箇所		
対象学校区	10校	平均開催日数	5日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	113人	ボランティア数	34人
平均参加児童数	16人	1日当たりの 平均スタッフ数	3.3人/ 教室

放課後子供教室・南部地区

志木市・放課後志木っ子タイム				
活動場所	教室、体育館、校庭等	参加者数	登録児童数	473人
参加対象	1～6 学年		1日平均参加者数	44人
連携団体	志木市社会福祉協議会			
プログラム例	フットサル、空手、ダンス、折り紙、ハンドメイド等			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、全児童を対象として放課後の居場所づくりを行い、次世代を担う子どもたちの健やかな成長と人間形成を目指している。 通常期間の平日は放課後から午後の5時まで、三季休業日中の平日は午前8時から午後5時まで実施している。 学童保育クラブとは校内交流型で運営を行っており、学童保育の児童も放課後子ども教室で行われる体験プログラムに参加できる。 また、下校後すぐに宿題に取り組み、低学年から自主学習の習慣づけを行い、保護者から好評を得ている。 三季休業日中は弁当の外注を保護者がWEB上で行い、職員が弁当を受け取って児童に手渡す取り組みを行っている。			



〔舞踊体験〕



〔郷土文化体験〕

志木市基本情報			
運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	行政関係者、学校関係者、学童保育クラブ関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、PTA関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、コミュニティ団体関係者、ボランティア団体関係者、小学校区内の地域住民及び委員会が特に必要と認めた者		
検討内容	・放課後子ども教室全校の運営平準化 ・活動プログラムの企画、安全管理 ・広報活動方策 ・地域住民との多世代交流の継続 ・協力者の人材確保		
放課後子供教室 実施数	8教室 児童クラブとの連携情報 連携型 8教室 (内、校内交流型 8教室) 参考：放課後児童クラブ 8箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	240日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	8人
登録児童数	2862人	ボランティア数	30人
平均参加児童数	53人	1日当たりの 平均スタッフ数	4人/ 1教室

放課後子供教室・南部地区

和光市・北原小わこうっこクラブ(放課後子供教室)				
活動場所	施設・教室・校庭	参加者数	登録児童数	206人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	23人
連携団体	地区社会福祉協議会、市体育協会			
プログラム例	ボール遊び、昔遊び、ダンス、工作教室、科学教室 等			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は、子どもたちが教育活動サポーターの見守りのもと、放課後を安全に過ごし、様々な体験活動や幅広い人々との交流を通じて、自主性・協調性をはぐくむことを目指している。独立型施設を有しているため、長期休業中だけでなく、学校の振替休業日にも開室できる。 同じ施設を使用しているさざんか学童クラブとの日常的な交流だけでなく、学童ふれあい事業として夏祭りやカルタ大会などの学童交流イベントを開催した。また、近隣の児童館を活用した子どもたちの活動場所拡大を図っている。 月に2回、他学童クラブ所在児童も参加するイベント型事業としてスポーツや文化、芸術にふれる子ども教室を開催している。今年度はSDGs教室、石けんづくりといった新規プログラムを追加し、内容の充実に努めた。			



〔わくわくコンサート〕



〔ドッジボール〕

和光市基本情報			
運営委員会名	一体型放課後対策事業運営委員会		
構成役職 (合計10名)	子育て支援団体 1名 民生委員児童委員協議会 1名 生きいきクラブ連合会 1名 ボランティア連絡会 1名 小・中学校代表者 1名 地区社会福祉協議会 1名 行政機関 2名 公募による市民 2名 ※各小学校区毎に設置		
検討内容	・事業計画の策定 ・事業の検証、評価 ・次年度の活動計画作成		
放課後子供教室 実施数	9教室 児童クラブとの連携情報 連携型 9教室 (内、校内交流型 7教室) 参考：放課後児童クラブ 15箇所		
対象学校区	9校	平均開催日数	232日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	9人
登録児童数	2214人	ボランティア数	145人
平均参加児童数	278人	1日当たりの 平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・南部地区

新座市・野寺ココフレンド

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	266人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	30人
連携団体	テニスサークル、折り紙サークル、第五中学校			
プログラム例	工作教室、昔あそび、折り紙教室、ボール遊び、記録会 等			
特徴的な活動 内容と成果	野寺小学校の施設をお借りして、保護者、地域の方々の協力を得て、様々な活動を展開している。子どもたちの意見を出来るだけ活動に取り入れるようにしている。1日の活動には学習と遊びの時間を明確に分け、いつ来室しても、同じ生活のリズムで過ごせるように心がけている。ドッジボールやバスケットボール等のボールを使った遊びやコマ回しけん玉等の昔遊びが特に人気がある。授業参観・懇談会や個人面談の時期、また、長期休みは参加児童が多い。保護者にはお迎えの際に子どもの様子を伝えている。保護者の方からは、「子どもが参加を楽しみにしている」「安心して子どもが過ごせてありがたい」等の意見をいただき、スタッフ一同の励みになっている。			



〔研修会での活動事例紹介の様子〕



〔ラケットテニス教室の様子〕

新座市基本情報

運営委員会名	新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会		
構成役職 (合計16名)	教育長、教育総務部長、小学校長、PTA代表者、町内会連合会会長、民生・児童委員協議会理事、社会教育委員、放課後児童保育室支援員代表者、実行委員会委員長、コーディネーター代表者、子ども支援課長、保育課長、教育支援課長、生涯学習スポーツ課長、受託事業者代表者		
検討内容	・事業の運営状況について ・アンケートの実施及び結果について ・事業に関する要綱、マニュアル等の改正について		
放課後子供教室 実施数	17教室 児童クラブとの連携情報 連携型 17教室 (内、校内交流型 17教室) 参考：放課後児童クラブ 17箇所		
対象学校区	17校	平均開催日数	209日/教室
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	50人
登録児童数	3306人	ボランティア数	230人
平均参加児童数	446人/日	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室

放課後子供教室・南部地区

桶川市・朝日小学校あいあい広場

桶川市・朝日小学校あいあい広場				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	54人
参加対象	1～6 学年		1日平均参加者数	22人
連携団体	和太鼓サークル、人形劇サークル、卒業生ボランティア等			
プログラム例	劇団員を招いた即興劇、ハーモニカの演奏、和太鼓体験など			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、地域の活動サークル等を団体協力員として招き、子供たちに通常の学校生活では体験し得ない様々な活動を行っている。 放課後子供クラブとは校庭を用いたプログラムの際に連携・協力を行い、一緒に活動している。 今年度はデフリンピックが開催されることから、始まりのあいさつ、終わりのあいさつの際に手話を用いる取り組みを始めた。1～2 学期を経て子供たちもだんだんと手話を覚えはじめています。			



テーブル人形劇



手話で話そう

桶川市 基本情報

運営委員会名	桶川市放課後子供教室事業運営委員会		
構成役職 (合計20名)	校長会 1名 各学校PTA 7名 自治会 1名 各教室コーディネーター 7名 社会教育委員 1名 関係行政課長 3名		
検討内容	・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・各教室の定員及び開催日数 ・年間スケジュール策定		
放課後子供教室 実施数	7教室 児童クラブとの連携情報 連携型 7教室 (内、校内交流型 7教室) 参考：放課後児童クラブ 7箇所		
対象学校区	7校	平均開催日数	200日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	16人
登録児童数	296人	ボランティア数	186人
平均参加児童数	18人	1日当たりの 平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・南部地区

北本市・東小放課後子ども教室教室

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	31人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	15人
連携団体	地域サークル活動団体			
プログラム例	・学びの時間（宿題、自主学習）・ふれあい活動（ラダーゲッター、絵手紙、ディスコン、工作、ジャンボシャボン玉）			
特徴的な活動内容と成果	【1日の流れ】 前半は宿題を中心とした「学びの時間」、後半は地域の方等を指導者に様々な体験活動を行う「ふれあいの時間」の2部構成。 【特徴】 東小放課後子ども教室の特徴は、豊富な工作があげられる。スノードーム作りや、スライム作り、スーパーボール作り、浮沈子作り等、子ども達に好評を得ている。年1回のお楽しみ企画では、ジャンボシャボン玉を実施。日常では体験できない活動ということもあり、夢中で参加する子ども達の姿が見られた。 【交流活動】 放課後児童クラブとの交流活動（共通プログラム）を年1回実施している。今年度は、大人気のドッジボールをして交流を深めた。			



ジャンボシャボン玉を飛ばす様子



交流活動（ドッジボール）の様子

北本市基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	放課後子ども教室代表7名、放課後児童クラブ関係者1名、校長会代表2名、PTA代表1名、コミュニティ協議会代表1名、民生委員・児童委員代表1名、学校教育課長、子育て支援課長		
検討内容	・事業計画の策定 ・安全管理方策の検討 ・広報活動方針の検討 ・地域協力者確保に係る方策の検討 ・事業の検証及び評価 など		
放課後子供教室 実施数	7教室 児童クラブとの連携情報 連携型 7教室 (内、校内交流型 7教室) 参考：放課後児童クラブ 7箇所		
対象学校区	7校	平均開催日数	96日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	18人
登録児童数	287人	ボランティア数	135人
平均参加児童数	129人	1日当たりの 平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

所沢市・ほうかごところ				
活動場所	教室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	297人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	55人
連携団体	みどり児童館			
プログラム例	折り紙教室、児童館との合同イベント（ドッチボール） 等			
特徴的な活動内容と成果	本教室では、安全で安心な子どもの居場所づくりを目的として、自由に遊ぶことを基本とすることで、子どもたちはそれぞれの場所で、遊びを見い出しながら過ごしている。学年関係なく上級生が下級生と一緒に遊ぶ様子も見られる。教室開設から20年以上がたち、子どもたちがしっかりとつながった関係を築くことができている。 みどり児童館生活クラブとは、小学校の校庭を共有し、遊びの決まりなどの情報も共有している。合同で楽しみ会なども開催している。 子どもたちの安全安心な活動のために、学校・地域・PTAで組織された運営委員会を開催するほか、保護者会の開催、情報発信のための通信紙の発行も行っている。			



〔折り紙教室〕



〔みどり児童館との合同イベント〕

所沢市 基本情報			
運営委員会名	ほうかごところ運営委員会		
構成役職 (合計13名)	運営委員長：1名 副委員長：1名 教室スタッフリーダー：1名 教室スタッフ：2名 校長：1名 教頭：1名 PTA会長：1名 長生クラブ連合会会長：1名 町会連合会榎町会長：1名 学校開放運営委員会副委員長：1名 民生委員・児童部長：1名 青少年を守る会会長：1名		
検討内容	・事業報告 ・事業計画と現状報告 ・災害発生時の対応について ・新1年生の受入れ行事について		
放課後子供教室 実施数	11教室 児童クラブとの連携情報 連携型 8教室 (内、校内交流型 3教室) 参考：放課後児童クラブ 45箇所		
対象学校区	11校	平均開催日数	182日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	103人
登録児童数	2782人	ボランティア数	126人
平均参加児童数	36人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

飯能市・おくむさし わくわくルーム

飯能市・おくむさし わくわくルーム				
活動場所	体育館、教室、校庭	参加者数	登録児童数	60人
参加対象	1～6 学年		1日平均参加者数	39人
連携団体	ソニー・ミュージックエンタテインメント、名栗げんきプラザ他			
プログラム例	ミュージカルワークショップ、ダンス、英語遊び、ホッケー、コーディネーショントレーニング、工作等			
特徴的な活動内容と成果	本教室は小規模校の魅力づくりの一環として位置付けられている。 ソニー・ミュージックエンタテインメントとの連携では、プロの指導によるミュージカルワークショップやダンス体験のほか、プログラミングの体験も実施している。 また、絵画、英語、コーディネーショントレーニング等の専門的な知識を持つ市内在住の方々による体験や、スポーツ課と連携して本市の市民スポーツであるホッケーを楽しむ活動などを行っている。 保護者からは、「学校や家庭ではできない様々な体験ができ可能性が広がる」などの好意的な意見をいただいている。			



〔正解ないダンス〕



〔ホッケーを楽しもう〕

飯能市基本情報

運営委員会名	奥武蔵小学校放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	実施校校長 1 名 放課後児童クラブ代表者 1 名 実施校 P T A 代表者 1 名 社会教育関係者 1 名 コーディネーター 1 名 教育活動指導員 3 名		
検討内容	・事業計画の策定 ・運営方法及び活動内容 ・事業の安全管理 ・事業の検証及び評価		
放課後子供教室 実施数	2 教室 児童クラブとの連携情報 連携型 2 教室 (内、校内交流型 1 教室) 参考：放課後児童クラブ 20 箇所		
対象学校区	2 校	平均開催日数	25 日
主な対象学年	1～6 学年	コーディネーター数	2 人
登録児童数	71 人	ボランティア数	7 人
平均参加児童数	49 人	1日当たりの 平均スタッフ数	4 人/教室

放課後子供教室・西部地区

東松山市・松山第二小学校放課後子ども教室 pear まつに

活動場所	教室・体育館・運動場等	参加者数	登録児童数	5人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	5人
連携団体	外部講師（市に登録された方、グループ）			
プログラム例	季節の行事（七夕、ハロウィンなど）、運動遊び（バトミントン、ボーリングなど）、工作（パズル、折紙など）			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、①こども達が楽しく安全に過ごせる。②保護者が安心して預けられる。③感染症や不審者対応・いじめゼロに万全を期した教室運営の三本柱を基盤にした経営をしている。活動は週2日、月・金の放課後に実施している。特に今年度は、少人数の為、良さを生かした心温まる触れ合いを通して、楽しく思い出に残る支援に徹している。また、学校の教育方針に基づいた学び方や集団生活の習得も大切にしている。 前半は宿題や自主学習、後半に季節や学校の行事にあわせた活動や工作・運動遊び・外部講師・地域探索を取り入れている。保護者からは、「家庭では経験出来ない活動が出来る」・「異学年や高齢者交流等ができ感性が豊かになった」・「家庭での会話が増えた」等好評を得ている。			



〔ハロウィン〕



〔クリスマスリース・カード作り〕

東松山市基本情報

運営委員会名	東松山市放課後子ども教室連絡会議		
構成役職 (合計39名)	放課後子ども教室コーディネーター11名、小学校長11名、PTA会長11名、放課後児童クラブ代表、教育委員会（こども家庭部部長、こども家庭部次長、こども支援課長、保育課長、学校教育課長）		
検討内容	・放課後子ども教室の検証について ・放課後子ども教室の活動内容について ・次年度の実施内容について		
放課後子供教室 実施数	11教室 児童クラブとの連携情報 連携型 2教室 （内、校内交流型 2教室） 参考：放課後児童クラブ 21箇所		
対象学校区	11校	平均開催日数	52日
主な対象学年	1～3学年 （1校のみ1～6学年）	コーディネーター数	11人
登録児童数	206人	ボランティア数	66人
平均参加児童数	118人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・西部地区

狭山市・みかりばっ子放課後教室

狭山市・みかりばっ子放課後教室				
活動場所	御狩場小学校体育館・校庭	参加者数	登録児童数	81人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	58人
連携団体	—			
プログラム例	自由遊び（卓球、こま回し、ボール遊び、トランプ等）			
特徴的な活動内容と成果	自治会をはじめとした地域と密着した運営体制を築くことが出来ており、学校とも良好な信頼関係を築いている。 活動中に怪我をした児童及び保護者に対する事後の対応が迅速かつ丁寧であり、その後、速やかに学校と協議することで、安全対策を講じることが出来ている。 実施内容は主に自由遊びとしており、体育館では、バスケットボール、バドミントン、卓球、工作、こま回し、トランプ、宿題などを行い、校庭では、竹馬、野球、サッカー、ホッピング、鉄棒などを行っている。			



〔卓球〕



〔こま回し遊び〕

狭山市（町村）基本情報

運営委員会名	狭山市地域子ども教室連絡会 T i e に委託		
構成役職 (合計 14名)	各教室の代表が理事となり、理事会を組織し、狭山市地域子ども教室連絡会 T i e を運営している。 代表理事 1 名、副代表理事 2 名、理事 9 名、監事 2 名の他、相談役 2 名、事務員 3 名が運営委員会を組織。 コーディネーター 3 名、社会教育課職員		
検討内容	・スタッフの高齢化による人材確保 ・教室同士の情報交換 ・スタッフへの研修、運営体制の充実 ・地域への情報発信 ・コーディネーターの育成 ・新教室の開設		
放課後子供教室 実施数	12 教室（体験教室 2、放課後 10） 児童クラブとの連携情報 連携型 10 教室 （内、校内交流型 10 教室） 参考：放課後児童クラブ 15 箇所		
対象学校区	14 校	平均開催日数	月に1日
主な対象学年	1～6 学年 ※教室により異なる	コーディネーター数	3人
登録児童数	1,040人	ボランティア数	233人
平均参加児童数	各教室53人	1日当たりの 平均スタッフ数	10.5人/教室

放課後子供教室・西部地区

入間市・わく☆どき！さやま

入間市・わく☆どき！さやま				
活動場所	狭山小多目的室	参加者数	登録児童数	16人
参加対象	市内在住小学生		1日平均参加者数	16人
連携団体	NPO法人、入間市ティーボール連盟、入間市華道連盟 他			
プログラム例	工作、運動遊び、昔遊び、華道、音楽、季節のイベント他			
特徴的な活動内容と成果	入間市放課後子ども教室は、放課後に子どもたちの安全で安心な活動拠点を設け、地域住民の皆さんの協力を得て、子どもたちに様々な体験活動の機会を提供している。今年度も年間を通して、多岐にわたる体験活動を提供することができた。 プログラムは、子どもたちの自由な発想を尊重できるようにコーディネーターをはじめとしたスタッフの創意工夫がされており、季節の行事に関する工作やパラスポーツ等、小学校の授業では体験できない内容を中心に組まれている。郷土かるたや市の特産物である狭山茶についてのプログラムが組まれることもあり、地域住民との繋がりを大切にしている。また、放課後子ども教室で作成した作品を、市内博物館の企画で展示し、児童や保護者から好評をいただいている。			



〔工作の様子〕



〔教室での運動遊び〕

入間市 基本情報

運営委員会名	入間市放課後子ども教室事業運営協議会		
構成役職 (合計 15名)	・入間市立小学校の児童の保護者代表 2 名 ・地域住民により組織する団体の代表者 3 名 ・学校教育及び社会教育の関係者 4 名 ・市内在住者から公募で 3 名 ・知識経験者 3 名		
検討内容	・事業計画の策定に関すること ・安全管理方策に関すること ・広報活動方策に関すること ・地域協力者の人材確保方策に関すること ・実施プログラムの企画に関すること 等		
放課後子供教室 実施数	16 教室 児童クラブとの連携情報 連携型 16 教室 (内、校内交流型 15 教室) 参考：放課後児童クラブ 28 箇所		
対象学校区	16 校	平均開催日数	23 日
主な対象学年	1～6 学年	コーディネーター数	9 人
登録児童数	751 人	ボランティア数	36 人
平均参加児童数	472 人	1 日当たりの 平均スタッフ数	3 人/教室

放課後子供教室・西部地区

富士見市・すわっこくらぶ

活動場所	特別教室、校庭、体育館、市民総合体育館等	参加者数	登録児童数	684人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	128人
連携団体	放課後児童クラブ、児童館等			
プログラム例	スライムづくり、カード作り、生け花体験・茶道体験教室等			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、平日放課後の子供たちの安全・安心な居場所づくりを目指して活動している。 活動前に開催している企画会議には、児童館や放課後児童クラブの職員の方にも参加していただいております、連携して活動している。 自由遊びだけでなく、家庭ではなかなかやることのできない工作や生け花体験、茶道体験なども開催しており、子ども達は楽しそうに活動に参加している。今年度は、学期末に普通のスライムに一工夫を加えた「ふわふわスライムづくり」を行った。子ども達は夢中になってスライムの変化を楽しんでいた。			



〔大型絵本の読み聞かせ〕



〔ふわふわスライムづくり〕

富士見市 基本情報

運営委員会名	富士見市地域子ども教室連絡協議会		
構成役職 (合計 38名)	各教室企画運営委員27名 校長会2名 放課後児童クラブ職員1名 児童館職員3名 公民館職員4名 交流センター職員1名		
検討内容	・各教室間の情報共有 ・共通課題とその解決策について		
放課後子供教室 実施数	10教室 児童クラブとの連携情報 連携型 10教室 (内、校内交流型 9教室) 参考：放課後児童クラブ 26箇所		
対象学校区	10校	平均開催日数	14日
主な対象学年	1～6学年 低学年	コーディネーター数	13人
登録児童数	4593人	ボランティア数	83人
平均参加児童数	646人	1日当たりの 平均スタッフ数	11人/教室

放課後子供教室・西部地区

鶴ヶ島市・放課後のびのび算数教室

活動場所	市内全小学校（8校）	参加者数	登録児童数	382人
参加対象	1 ～ 6 学年		1日平均参加者数	10人
連携団体	—			
プログラム例	算数の基礎学習			
特徴的な活動内容と成果	年度当初に復習プリントを行い、個々のつまづきのポイントを確認した上でプリントやタブレットによる学習を始めている。また、授業の進度に合わせるために、担任と学力向上支援員との間で連絡ノートを活用している。子供たちからは、「わかりやすく教えてもらって算数が好きになった」「また参加したい」などの感想があった。スタッフからは、「子供たちの成長を見ることが楽しみ」「生きがいを感じながら地域に貢献できる」などの声が寄せられている。 課題としては、参加しやすい環境づくりとスタッフの確保が挙げられる。今後は、安全への配慮に努めるとともに、より効果的な指導を行えるよう、プリント作りを検討していきたいと考えている。			



〔指導員からの指導を受けて〕



〔自主学习〕

鶴ヶ島市基本情報

運営委員会名	鶴ヶ島市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	放課後子ども教室代表3名、放課後児童クラブ関係者1名、校長代表1名、PTA代表1名、こども・地域に関する活動関係者4名		
検討内容	・事業の検証、評価 ・人材確保、広報活動などの方策 ・次年度の活動予定		
放課後子供教室 実施数	28教室 児童クラブとの連携情報 連携型 23教室 (内、校内交流型 15教室) 参考：放課後児童クラブ 15箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	45日
主な対象学年	1～6 学年	コーディネーター数	28人
登録児童数	1,468人	ボランティア数	187人
平均参加児童数	86人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・西部地区

日高市・高根小学校区放課後子ども教室

活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	15人
参加対象	前期課程 (1～6学年)		1日平均 参加者数	13.5人
連携団体	高根地区地域学校協働本部			
プログラム例	モルック、シャーベット作り、ペタンク、工作 等			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は、平日放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりのため、様々な体験や異年齢との交流を通して、自主性・協調性の生育を目指している。 活動内容については、年間7回の内容をスタッフが決め、活動日に合わせて事前準備、及び当日打合せを念入りに行い子どもたちの安全に配慮を行っている。 また、保護者ボランティアに参加してもらうことにより、地域全体で子どもたちの活動を見守り、家庭内のコミュニケーションや地でのコミュニティがより良好になるなど好評を得ている。			



〔とんがり帽子作成(工作)〕



〔ペタンク〕

日高市基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室代表者会議		
構成役職 (合計 12名)	地域学校協働活動推進員、PTA、スポ少、学校応援団、公民館企画運営委員、保護者		
検討内容	放課後子ども教室の活動内容について		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 連携型 6教室 (内、校内交流型 5教室) 参考：放課後児童クラブ 13箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	6日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	10人
登録児童数	204人	ボランティア数	12人
平均参加児童数	164人	1日当たりの 平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・西部地区

ふじみ野市・東台小学校放課後子ども教室				
活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	18人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	15人
連携団体	文京学院大学			
プログラム例	宿題、外遊び、体育館遊び、季節の工作、サイエンスショー			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は、放課後の子どもたちの安心安全な居場所づくりと、地域住民との交流の機会の提供を目的として、週に1回活動を行っている。 本教室の特徴的な活動としては、指導員が企画するオリジナルの工作、顕微鏡を使った観察やサイエンスショーといった科学体験がある。また、市内にある文京学院大学とも連携している。経験豊富な地域の指導員と、新たな視点を持った大学生が連携することで、児童にとって日常において経験できない幅広い活動を提供することができた。 また、定期的に放課後児童クラブとの交流も行っている。交流を通して、全ての児童が安心安全に、様々な体験をすることができる放課後の居場所づくりを進めている。			



〔サイエンスショー(風船実験)〕



〔放課後児童クラブ交流(ミニ運動会)〕

ふじみ野市 基本情報			
運営委員会名	ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 11名)	小学校長1名、PTA連合会1名、放課後児童クラブ2名、自治組織連合会2名、民生委員・児童委員協議会1名、放課後子ども教室指導員1名、学識経験者1名、ふじみ野市職員2名		
検討内容	・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・次年度の活動予定		
放課後子供教室 実施数	14教室 児童クラブとの連携情報 連携型 14教室 (内、校内交流型 14教室) 参考：放課後児童クラブ 29箇所		
対象学校区	13校	平均開催日数	31日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	13人
登録児童数	463人	ボランティア数	42人
平均参加児童数	420人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・西部地区

毛呂山町・放課後学習教室

活動場所	毛呂山小学校	参加者数	登録児童数	22人
参加対象	3・4学年		1日平均参加者数	20人
連携団体	—			
プログラム例	学校の宿題、百マス計算、放課後学習教室の宿題 等			
特徴的な活動 内容と成果	毛呂山町の放課後学習教室は、児童の安心安全な居場所づくりや学習習慣の定着を目的に実施しています。また、地域の方にコーディネーターや学習サポーターとして活躍していただいております、地域ぐるみで毛呂山の子どもを育てる「地域学校協働活動」の取り組みとしても重要な役割を担っています。 参加児童に行ったアンケートでは、「友達と一緒に勉強できて楽しい」・「スタッフが優しく教えてくれるから嬉しい」といった意見を多数いただいております。			



〔はじめの会の様子〕



〔百マス計算の様子〕

毛呂山町基本情報

運営委員会名	毛呂山町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 14名)	社会教育委員2名、各小学校教頭4名、PTA会長1名、学童保育の会1名、各教室コーディネーター4名、子ども課職員1名、学校教育課職員1名 (事務局) 生涯学習課		
検討内容	・事業の評価、検討		
放課後子供教室 実施数	4 教室 児童クラブとの連携情報 連携型 4 教室 (内、校内交流型 3 教室) 参考：放課後児童クラブ 4 箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	27日
主な対象学年	4・5学年	コーディネーター数	4人
登録児童数	70人	ボランティア数	24人
平均参加児童数	50人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室

放課後子供教室・西部地区

滑川町・放課後子供教室				
活動場所	福田小学校（多目的室, 図工室,体育館,校庭）	参加者数	登録児童数	26人
参加対象	福田小学校 1・2 学年		1日平均 参加者数	24人
連携団体	—			
プログラム例	地域ボランティアとの交流、かるた、藍染体験他			
特徴的な活動 内容と成果	本教室では、子供達が放課後を安心・安全に過ごす居場所を提供するため、遊び・学習・体験・交流等の多様な活動を実施している。 福田小学校を拠点として、小学校内の多目的室を主な活動場所とし、週に一度、火曜日に活動している。月に平均2回の割合で、地域ボランティアとの交流を行い、工作や昔遊び等を通して、子供達と地域の方々とのふれあいを進めている。 夏休みには特別開催として、1年生から6年生を対象とした教室を開催した。中学生ボランティアと「手作りせっけん」の作成、科学実験等、他学年や中学生との交流を行うことができた。			



〔紙でっぼう作り〕



〔スタンプあそび〕

滑川町 基本情報			
運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 ○名)	コーディネーター1名、小学校校長1名、学童保育関係者、指導主事1名、PTA会長1名		
検討内容	・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・次年度の活動予定		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 1 教室 (内、校内交流型 1 教室) 参考：放課後児童クラブ 1 箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	31日
主な対象学年	1・2学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	26人	ボランティア数	16人
平均参加児童数	24人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・西部地区

嵐山町・放課後子供教室スイミー

活動場所	ふれあい交流センター	参加者数	登録児童数	57人
参加対象	町内小学校1～6学年		1日平均参加者数	18人
連携団体	町立図書館、大妻嵐山中学校・高等学校、町内中学校			
プログラム例	宿題、ボードゲーム、茶道体験、お正月飾りづくり			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は、子供たちの安全・安心な居場所づくりと個々の子どもたちの様々な個性を大切にしながら創造性豊かな集団活動を展開し、自分で考え行動できることを目標に活動している。 活動は、平日放課後の宿題や遊びを中心とした通常活動と、休日等を利用した見学や体験を中心とした特別活動を実施している。 町内小学校全校が一つの教室で活動しており、異なる学校、学年の子どもたちや、地域の方々との交流を通したモノ作りや見学などの体験をおこなう中で、積極性や探求心、コミュニケーションが増えたことなどで保護者からも好評を得ている。			



通常活動の様子



特別活動 蝶の里を探索しよう

嵐山町基本情報

運営委員会名	嵐山町教育委員会 生涯学習課		
構成役職 (合計 〇名)	コーディネーター1名 教育活動推進委員1名 養育活動サポーター2名 生涯学習課職員5名		
検討内容	・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・プログラムの企画 ・次年度の活動予定		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ 4箇所		
対象学校区	3校	平均開催日数	44日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	57人	ボランティア数	6～9人
平均参加児童数	18人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・西部地区

小川町・ああこすおがわ

※「あ」安全、「あ」安心、こ「心豊か」、す「健やか」

活動場所	専用教室・絵本教室・多目的室・体育館・校庭等	参加者数	登録児童数	60人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	57人
連携団体	おり紙協会・小川町ウインドアンサンブル 等			
プログラム例	宿題、外遊び、わくわく天文教室、工作教室、人権DVD視聴等			
特徴的な活動内容と成果	当教室は、平成30年5月に開設され、7年目を迎えました。登録児童数は60人で、町内5教室の中で一番人数の多い教室です。 「特別の活動」として、今年度、アマチュア天文家の方をお招きし、「わくわく天文教室」を行いました。宇宙の美しい写真を見せていただいたり、実際に望遠鏡を覗いたり、たくさんの「わくわく体験」をすることができました。 また、スタッフの指導による工作教室では、紙コップやラップの芯等の身近な材料を使い、楽しい遊び道具を作ることができました。 初めの会では、全員で歌を歌う取組を行っています。また、遊び時間の最初には、ドッジボール・おにごっこ・ミニサッカーなどの全員遊びを取り入れました。異学年の交流もでき、よりよい友達関係ができて来ています。 今年度は、主役である「あ・な・た」の3文字から、「安全に、なかよく、楽しく、ああこすおがわ」を合言葉にしています。 児童のお迎え時、保護者から「子供が毎回、楽しく参加しています。」「いつもありがとうございます。」の言葉をいただいています。			



〔わくわく天文教室〕



〔工作教室〕

小川町基本情報

運営委員会名	小川町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	区長会1名、老人会1名、PTA1名、民生委員1名、学童クラブ1名、校長会2名、社会教育委員1名、公民館審議会委員1名、学識経験者2名、行政3名、コーディネーター1名		
検討内容	・事業計画の検証と評価 ・各教室の視察 ・諸課題への指導、助言等		
放課後子供教室 実施数	5教室 児童クラブとの連携情報 連携型 5教室 (内、校内交流型 1教室) 参考：放課後児童クラブ 5箇所		
対象学校区	5校	平均開催日数	26日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	5人
登録児童数	241人	ボランティア数	35人
平均参加児童数	220人	1日当たりの 平均スタッフ数	11人/教室

放課後子供教室・西部地区

川島町・中山っ子くらぶ				
活動場所	公民館、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	4 3 人
参加対象	中山っ子くらぶに登録している1～6学年		1日平均参加者数	3 5 人
連携団体	各種地域団体、公民館、小学校、見学施設			
プログラム例	グラウンドゴルフ、防犯教室、施設見学 等			
特徴的な活動内容と成果	異年齢及び異世代との関わりあいの中で、心豊かに、たくましく、自信をもって生きることのできる子どもを育てることを目的としている。地域で精力的に活動されている方がコーディネーターやクラブリーダーといったスタッフとして活躍しており、多くの地域住民に参加いただくことにより、子どもの安心安全な居場所づくりと、地域の教育力の向上を目指している。また、地域や公民館で活動する様々な団体と連携をとりながら活動しており、日常生活では経験することの難しい制作『土器作り』や施設見学を行った。また、今年度をもって廃止となる公民館の事業に参加し、異世代との関わりを増やした。			



〔土器作り〕



〔郷土料理（すったて）作り〕

川島町基本情報			
運営委員会名	川島町地域子ども教室実行委員会		
構成役職 (合計83名)	川島町教育委員会教育長 各くらぶコーディネーター 各くらぶクラブリーダー 川島町公民館連絡協議会長 川島町公民館連絡協議会副会長 川島町教育委員会社会教育指導員 川島町教育委員会生涯学習課長 川島町教育委員会生涯学習課職員		
検討内容	・地域子ども教室の運営について ・今後の地域子ども教室について		
放課後子供教室 実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 連携型 4教室 （内、校内交流型 1教室） 参考：放課後児童クラブ 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	10日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	5人
登録児童数	105人	ボランティア数	71人
平均参加児童数	83人	1日当たりの平均スタッフ数	12人/教室

放課後子供教室・西部地区

吉見町・南小放課後子ども教室

活動場所	南公民館	参加者数	登録児童数	14人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	12人
連携団体	公民館 社会教育館兼団体			
プログラム例	自主学習、自主活動、工作、室内ゲーム 等			
特徴的な活動内容と成果	自然に囲まれた中で、児童に農業への関心をもってもらうためにかかしについて学ぶとともに作製を行っている。二日に渡り作製に取り組み、個性豊かなかかしを完成させ農家の方に許可を頂いて、収穫前の田にかかしを設置している。 全体的に和やかな雰囲気の中で活動が行われ、共に「認め合い、語り合い、学び合う」姿がみられる。毎回の自主学習への積極的な取り組みは、家庭学習の習慣づくりを後押しする力になっている。学年や通学班の異なる児童との交流、多様な体験ができる放課後子ども教室は、保護者から高い評価を得ている。			



〔かかしの作製〕



〔彩の国郷土かるた〕

吉見町基本情報

運営委員会名	吉見町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 〇名)	教育委員（1名）、社会教育委員（1名）、放課後子ども教室実施校の校長（2名）、放課後こども教室実施校のPTA会長（2名）、放課後児童クラブ関係者（2名）、社会教育指導員、子育て支援課長、教育総務課長、生涯学習課長		
検討内容	・放課後子ども教室実施状況について ・アンケート結果について ・成果と課題について		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ 2箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	53人	ボランティア数	14人
平均参加児童数	17人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・西部地区

鳩山町・鳩山小学校放課後子ども教室				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	40人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	30人
連携団体	—			
プログラム例	学校の宿題、自由遊び、工作、スポーツ体験、施設見学など			
特徴的な活動内容と成果	鳩山町では、小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得ながら、子どもたちに様々な学習や遊び、体験活動の機会を提供している。 本教室は令和6年6月に鳩山町立鳩山小学校内に開設され、事業の実施により、自ら学ぶ力を身につけさせ、また、地域で子どもを育てる環境の充実を図り、子どもたちが健やかに育まれる環境づくりを目指している。1日の活動時間は1年生、2年生は2時間半、3年生以上は1時間半とし、前半は学習の時間や自由活動の時間を設け、各自で考えた活動に取り組んでいる。後半は全体活動の時間を設け、全員でできるゲームや工作活動、スポーツ体験活動などを行っている。 本年度は教室開設の初年度であったが、子どもたちが学びや遊びを通じ、楽しみながら、異学年の友達や地域の人々との交流を図る機会を設けることができたことは、大きな成果となっている。			



〔自由学習〕



〔グラウンド・ゴルフ体験〕

鳩山町基本情報			
運営委員会名	鳩山町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 〇名)	学校関係者、社会教育関係者、放課後児童クラブ関係者、PTA関係者、学識経験者、コーディネーター、公募委員 事務局：教育委員会事務局		
検討内容	・運営方針及び事業計画の策定に関すること ・安全管理方策に関すること ・広報活動方策に関すること ・ボランティア等地域協力者の人材確保方策に関すること ・事業実施後の検証及び評価に関すること		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 連携型 2教室 (内、校内交流型 2教室) 参考：放課後児童クラブ 3箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	27日
主な対象学年	1～6学年 (1校は1～3学年)	コーディネーター数	2人
登録児童数	74人	ボランティア数	35人
平均参加児童数	57人	1日当たりの平均スタッフ数	10人/教室

放課後子供教室・西部地区

ときがわ町・萩ヶ丘いきいき教室				
活動場所	萩ヶ丘小学校教室、校庭	参加者数	登録児童数	37人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	5人
連携団体	萩ヶ丘小学校			
プログラム例	宿題のサポート、校内での遊び、野球			
特徴的な活動内容と成果	給食のある日の放課後における見守りとして、宿題のサポートを始め教室内や校庭での遊び、野球教室を行っている。 夏季においては気温が高い日が続いたため、熱中症対策として熱中症計を用いて気温、湿度を常に確認し、屋外での活動が危険と判断された場合には適宜活動場所を屋内やエアコンの設置された部屋に変更して活動を継続した。			



〔屋内での遊び〕



〔屋外での遊び〕

ときがわ町基本情報			
運営委員会名	萩ヶ丘いきいき教室打ち合わせ会		
構成役職 (合計 7名)	小学校長、小学校教頭、萩ヶ丘いきいき教室指導員3名、生涯学習課長、生涯学習課担当者		
検討内容	・萩ヶ丘いきいき教室の活動について（活動時の懸案事項共有等） ・その他運営状況の共有		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ 3箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	190日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	37人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	5人	1日当たりの 平均スタッフ数	2人/教室

放課後子供教室・西部地区

東秩父村・放課後子ども教室				
活動場所	槻川小学校	参加者数	登録児童数	59人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	25人
連携団体	和紙の子児童クラブ（学童）			
プログラム例	紙飛行機づくり、グラウンドゴルフ体験 等			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は、平日放課後の子供たちの安心・安全な居場所づくりはもちろんであるが、特に「様々な体験」に特化し、自主性・協調性の育成を目指している。 今年度も6回実施する予定で、内容については、放課後子ども教室運営委員会で決めている。1回の実施に力をいれており「遊び」よりも「学び」「体験」といったプログラムに特化している。児童や保護者からも評判がよく、普段できない活動や体験ができることや他学年児童との交流について好評を得ている。			



〔ランタン絵作り〕



〔ドッチビー体験〕

東秩父村基本情報			
運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 12名)	教育委員 1名 小学校教頭 1名 小学校PTA会長 1名 民生委員・児童委員 1名 和紙の子児童クラブ関係者 3名 スクールガードリーダー1名 住民福祉課課長 1名 教育委員会事務局3名		
検討内容	・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価 ・プログラムの企画 ・次年度の活動予定		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 1教室 （内、校内交流型 0教室） 参考：放課後児童クラブ 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	6日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	0人
登録児童数	59人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	25人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・北部地区

熊谷市・三尻っ子放課後スクール

熊谷市・三尻っ子放課後スクール				
活動場所	三尻小学校地内 他	参加者数	登録児童数	3 6 2 人
参加対象	1 ～ 6 学年		1日平均参加者数	4 9 人
連携団体	商店、農業関係者、公民館、児童館、地域の方			
プログラム例	稲作体験、親子流しそうめん、オータムスクール（宿泊）、芋掘り体験、しめ縄作り体験			
特徴的な活動 内容と成果	稲作体験は、毎年恒例の行事で、おやじ倶楽部が主催となり地域の水田を使って実施している。収穫したお米は、本校に隣接する三ヶ尻神社を通じて、神奈川県鎌倉市の鶴岡八幡宮の神様に大イチョウのしめ縄とともに奉納された。 1 2 月 1 4 日には、しめ縄作り体験をした。三ヶ尻神社の宮司から稲を頂き、祝福を授かった稲でしめ縄を作ることができた。親子で協力して試行錯誤しつつ楽しみながら作製した。同日は神社でも大しめ縄を作成しており、見学をさせて頂き作成工程の説明を受け、見聞を広げる良い機会となった。 新企画として、小学校の近くにある畑を借用し、芋掘り体験を開催した。参加した児童は、芋を探して見つけると歓喜の声を上げながら、収穫を楽しんだ。			



〔芋掘り体験〕



〔しめ縄作り体験〕

熊谷市基本情報

運営委員会名	熊谷市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 15名)	熊谷市PTA連合会1名、熊谷市社会福祉協議会1名、熊谷市子ども会育成連絡協議会1名、熊谷市青少年健全育成市民会議1名、熊谷市自治会連合会1名、熊谷青年会議所1名、熊谷市校長会2名、熊谷市公民館連合会1名、熊谷市スポーツ協会1名、熊谷市文化連合1名、子どもセンターボランティア代表者1名、熊谷市社会教育委員会議1名、社会教育課長1名、社会教育課指導主事1名		
検討内容	・放課後子供教室の実態把握につて ・事業計画の策定 ・事業の検証及び評価		
放課後子供教室 実施数	2 8 教室 児童クラブとの連携情報 連携型 2 8 教室 (内、校内交流型 2 6 教室) 参考：放課後児童クラブ 6 1 箇所 (市立 5 4 箇所・民間7箇所)		
対象学校区	2 8 校	平均開催日数	9 日
主な対象学年	1 ～ 6 学年	コーディネーター数	2 8 人
登録児童数	8 5 4 9 人	ボランティア数	6 3 7 人
平均参加児童数	1 5 7 3 人	1日当たりの 平均スタッフ数	10人/教室

放課後子供教室・北部地区

本庄市・学ぼう舎（北泉公民館）

活動場所	公民館	参加者数	登録児童数	20人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	17人
連携団体	公民館利用団体、地域シニアクラブ 等			
プログラム例	収穫体験、製菓教室（調理実習）、陶芸教室 等			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は、児童に安全な居場所を設け、自主学習、体験学習又は文化活動により児童の自主性及び創造性を育む事を目的に、原則月2回、土曜日に実施している。 地域の方を支援者として、近隣の施設や市内の団体・人材とも連携しながら、自主学習の支援や体験学習等を活動内容としている。特に体験学習は会場ごとに各々企画・実施しており、令和6年度は「収穫体験」「製菓教室」「陶芸教室」などを行った。 保護者からは、宿題の分からない所を教えてもらえること、勉強以外にも家や学校ではできない様々な体験ができること、他学年・他学校の児童や地域の方との関わりが持てることなどで好評を得ている。			



〔製菓教室のサーターアンダギー〕



〔陶芸教室（マグカップづくり）〕

本庄市基本情報

運営委員会名	本庄市小学生学習支援事業運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	コーディネーター6名 生涯学習課職員2名		
検討内容	・事業計画の策定 ・事業内容の報告 ・課題等の検討 ・安全管理の共有 ・次年度の活動予定の検討		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ 22箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	17日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	92人	ボランティア数	31人
平均参加児童数	7.2人	1日当たりの 平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・北部地区

深谷市・花園小平日放課後子ども教室				
活動場所	図書室、音楽室、体育館等	参加者数	登録児童数	29人
参加対象	4～6学年		1日平均参加者数	28人
連携団体	—			
プログラム例	漢字検定にチャレンジ、かるた、書き初め教室、ドッジボール、キッズダンス 等			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、平日の放課後に小学校の余裕教室を利用して、漢字検定に挑戦することを目的とした漢字学習のほか、体験型のプログラムを通じて、児童の安心・安全な居場所を提供するものである。また、学年を超えた児童の交流の場であり、教室スタッフのほか地域の幅広い年代の方々との交流を通して、児童の自主性・社会性のより一層の向上を目指している。 参加児童は、原則、全日程に参加すること、保護者の迎えを条件としており、教室終了後は保護者への引き渡しを行う。 放課後児童クラブとは、児童の安全確保について連携を図っており、教室終了後は、教室スタッフが放課後児童クラブまで引率し、放課後児童クラブ職員へ引き渡している。			



〔かるた練習〕



〔書き初め教室〕

深谷市基本情報			
運営委員会名	平日放課後子ども教室協議会		
構成役職 (合計36名)	各学校長：6名 各学校担当（教頭）：6名 地域学校協働活動推進員：6名 平日放課後子ども教室マネージャー：6名 （うち地域学校協働活動推進員兼務5名） 放課後児童クラブ職員：9名 生涯学習スポーツ振興課職員：3名		
検討内容	・放課後子ども教室の実施方法 （実施場所・募集人員・募集方法） ・実施日程及びプログラムの内容 ・児童の安全管理対策（感染症対策含む）		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 連携型 6教室 （内、校内交流型 6教室） 参考：放課後児童クラブ 32箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	9日
主な対象学年	3～6学年 （教室による）	コーディネーター数	6人
登録児童数	1162人	ボランティア数	57人
平均参加児童数	107人	1日当たりの 平均スタッフ数	5人/教室

放課後子供教室・北部地区

横瀬町・放課後等子ども教室

横瀬町・放課後等子ども教室				
活動場所	教室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	59人
参加対象	1・2学年		1日平均参加者数	50人
連携団体	学校応援団、横瀬町社会福祉協議会			
プログラム例	宿題、ボール遊び、なわとび教室、工作教室、美文字教室			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は小学校の空き教室（2カ所）を主な活動場所とし、放課後や長期休業中における児童の安全で安心な場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して豊かな人間性を育てることを目的としている。 今年度は常時6名（1クラス3名）の指導員を配置し、きめ細かな指導や保護者との連携が充実した。また、新しい取組として、指導者を招聘し「工作教室」や「美文字教室」も実施でき大変好評であった。			



〔美文字教室〕



〔工作教室〕

横瀬町基本情報

運営委員会名	放課後等子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計11名)	横瀬小学校長、教頭、放課後子ども教室指導員7名、横瀬町教育委員会担当者2名		
検討内容	・放課後等子ども教室の活動内容について ・運営及び活動内容の成果と課題について		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 1教室 （内、校内交流型 0教室） 参考：放課後児童クラブ 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	228日
主な対象学年	1・2学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	59人	ボランティア数	30人
平均参加児童数	50人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室

放課後子供教室・北部地区

長瀬町・はつらつルーム

長瀬町・はつらつルーム				
活動場所	教室・体育館	参加者数	登録児童数	18人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	15人
連携団体	町民団体			
プログラム例	宿題、読書、工作、企画行事（軽スポーツ体験）等			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は、放課後の子供たちの安全な居場所を確保するとともに、多様な学習・体験活動を通して豊かな人間性の育成を目指している。 企画行事は小学校の協力をいただき、体育館を利用したのドッチビー体験を行った。講師の指導のもと、ルールや投げ方などの技術を学び、異学年の交流を深めた。 夏休みには1年生から6年生を対象とした布ぞうりづくり教室を開催した。 教育活動推進員は、児童の健康状態を把握しつつ、宿題や個別の学習活動を中心に指導にあたった。また、通常の活動に加え、身近にある材料を使用して工作に取り組む中で、一人ひとりの豊かな想像力を育む機会が増えた。			



〔宿題・学習の個別支援〕



〔ドッチビー体験〕

長瀬町基本情報

運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計12名)	放課後子供教室代表、児童クラブ代表、小学校長、PTA代表、児童クラブ室担当、健康こども課長、教育長、教育次長、指導主事、事務局（教育総務担当主幹、教育総務担当主任、学校教育指導員）		
検討内容	- 放課後子供教室の基本構想 - 活動内容について		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ 2箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	70日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	18人	ボランティア数	4人
平均参加児童数	15人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・北部地区

小鹿野町・いきいき教室（小鹿野小学校）				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	22人
参加対象	1学年		1日平均参加者数	22人
連携団体	小鹿野町民生委員・児童委員・地域ボランティア			
プログラム例	読み聞かせ、プリント学習、工作等			
特徴的な活動内容と成果	○水曜日の6校時を「いきいき教室」として計画している。 1年生が6校時を過ごすことにより、他学年との下校時間が揃い、下校の安全を確保することができる。 ○「コーディネーターと中心指導者（地域ボランティア）」と「民生委員・児童委員さん1名」で構成している。コーディネーターさんと地域ボランティアさんが中心となり、指導者の分担や民生委員・児童委員さんとの連絡調整をいただいている。 ○1回の活動は「①読み聞かせ ②プリント学習 ③折り紙等のお楽しみ」を行い、活動の流れが確立している。また、月に1回程度、工作の時間を確保した。 ○児童達も毎回楽しみにしている。指導者の方々が多く、幅広く大人と関わる機会となっている。			



〔学習の時間の様子〕



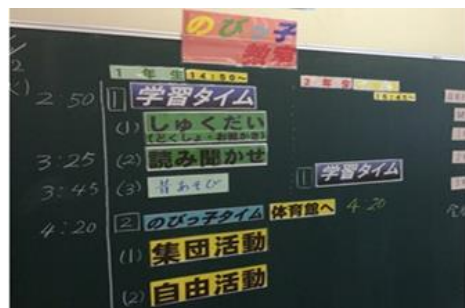
〔工作物で遊ぶ様子〕

小鹿野町基本情報			
運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 11名)	小学校長（1名） 各教室コーディネーター（4名） 各学校担当者（4名） 教育委員会職員（2名）		
検討内容	・各学校の事業計画について ・活動内容についての情報共有 ・事業内容の報告 ・次年度の活動予定について		
放課後子供教室 実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 連携型 4教室 （内、校内交流型 1教室） 参考：放課後児童クラブ 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	29日
主な対象学年	1学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	46人	ボランティア数	64人
平均参加児童数	46人	1日当たりの 平均スタッフ数	2.7人/教室

放課後子供教室・北部地区

上里町・上里東小のびっこ教室

上里町・上里東小のびっこ教室				
活動場所	上里東小学校	参加者数	登録児童数	27人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	24人
連携団体	—			
プログラム例	宿題・読書・工作・体育館遊び 等			
特徴的な活動 内容と成果	上里町放課後子供教室（上里東小学校のびっこ教室）は、放課後の空き教室等を利用し、週2日間、子供達が放課後に、異年齢の仲間と安全かつ安心して学習や体験活動を通して、異年齢交流を図れる居場所づくりを実施している。 ボランティアには地域の方や、退職教員にご協力いただいて開催している。時期に応じて、工作等さまざまな事業をサポートが提案してくださり、通年を通して子供たちは飽きずに楽しんでいる。毎回前半に学習タイムを30分間設けることにより、のびっこ教室にて宿題を終わらせる子が多くおり、保護者からも家で宿題をさせる必要がないので助かっているという声が上がっている。 子供たちにとっては異年齢の子たちと遊べる数少ない機会となり、サポーターにとっても地域の子供と触れ合える機会となり、双方にとって良い効果が出ている。			



のびっこ教室のスケジュール



体育館活動（モルック）

上里町基本情報

運営委員会名	上里町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 21名)	実施校校長 5 名、公民館代表 1 名、PTA 1 名、子ども会育成会 1 名、スポーツ少年団 1 名、ボランティア団体 1 名、関係課室長 4 名、実施校コーディネーター 6 名、学識経験者 1 名		
検討内容	・年間事業計画検討 ・事業成果検討		
放課後子供教室 実施数	6 教室 児童クラブとの連携情報 連携型 1 教室 （内、校内交流型 0 教室） 参考：放課後児童クラブ 5 箇所		
対象学校区	5 校	平均開催日数	3 8 日
主な対象学年	1～3 学年	コーディネーター数	1 1 人
登録児童数	8 8 人	ボランティア数	4 0 人
平均参加児童数	7 8 人	1 日当たりの 平均スタッフ数	5 人/教室

放課後子供教室・東部地区

行田市・南河原小学校わくわくクラブ

活動場所	南河原小学校内・さざんか1、体育館など	参加者数	登録児童数	18人
参加対象	1・2学年		1日平均参加者数	17人
連携団体	南河原学童保育室			
プログラム例	おりがみ、モルック、ドッチボール、人体の授業など			
特徴的な活動内容と成果	南河原小学校わくわくクラブは、令和元年度に開設され、年15回(4、8、12、3月除く)活動を実施している。 モルック、ドッチボール、なわとびなどの運動のほか、工作や行田かるたなど幅広く活動しており、人体を模したエプロンを用いた自分の身体を知ろうという授業も実施した。 スタッフは教職員OBや地域住民で構成され、子どもたちは、授業だけでは体験できないことを学び、さらに地域との絆も深めている。 参加児童や保護者の満足度も高い。			



〔聴診器で友達の心音を聞く〕



〔エプロンを用いた人体の解説〕

行田市基本情報

運営委員会名	行田市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	各教室コーディネーター9名・小学校長2名・PTA代表1名・社会教育関係者1名・自治会長1名・生涯学習課長1名		
検討内容	・各教室の運営状況 ・活動内容についての情報共有 ・安全管理及び課題解決のための協議等		
放課後子供教室 実施数	9教室 児童クラブとの連携情報 連携型 9教室 (内、校内交流型 9教室) 参考：放課後児童クラブ 20箇所		
対象学校区	10校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	9人
登録児童数	369人	ボランティア数	102人
平均参加児童数	244人	1日当たりの 平均スタッフ数	8人/教室

放課後子供教室・東部地区

春日部市・豊春小学校放課後子ども教室

活動場所	特別教室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	1 1 6 人
参加対象	1 ～ 6 学年		1日平均参加者数	7 2 人
連携団体	自治会、PTA、共栄大学、春日部おやこ劇場、春日部市スポーツ推進課等			
プログラム例	ビュンビュンごま作成、忍者修行、モルック、科学教室			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、こども達に多様な体験や交流活動等の機会を設けるため、「とよはるっ子教室」の名称で、地元自治会、PTAが中心となり、多くのボランティアがスタッフとして参加し運営されており、地域との関係も密接である。 令和6年度は、市内にある共栄大学の学生による、牛乳パックを使った回転ごま（ビュンビュンごま）を作成する工作教室や、市内で活動する社会教育団体（春日部おやこ劇場）の協力を得て、忍者に扮し様々なレクリエーションを行う「忍者修行」などを実施し、参加した児童やスタッフから好評だった。			



〔ビュンビュンごま作成〕



〔忍者修行〕

春日部市基本情報

運営委員会名	春日部市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計11名)	小学校長会代表、社会教育委員、自治会連合会代表、青少年育成春日部市民会議代表、生涯学習市民推進員、市PTA連合会代表、放課後子ども教室代表2名、共栄大学准教授、指導課長、中央公民館長		
検討内容	・令和6年度放課後子ども教室の実施について ・春日部市放課後子ども教室推進事業の課題について		
放課後子供教室 実施数	17教室 児童クラブとの連携情報 連携型 17教室 （内、校内交流型 17教室） 参考：放課後児童クラブ 23箇所		
対象学校区	17校	平均開催日数	6日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	20人
登録児童数	1390人	ボランティア数	277人
平均参加児童数	1021人	1日当たりの 平均スタッフ数	12人/教室

放課後子供教室・東部地区

羽生市・羽生南小学校放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	24人
参加対象	4～6学年		1日平均参加者数	20人
連携団体	—			
プログラム例	学習支援、スポーツ遊び、ジャガイモ植え・掘り、			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、子どもたちの安全・安心な居場所作り、地域の方々と様々な活動を行い、異年齢間の交流を深めることを目的として活動している。 前半に学習の時間として、宿題・自主学習等を行い、後半にスポーツ活動として、バドミントン、バスケットボール等を体育館で活動している。また、年に数回、特別活動として外部から講師を招き、普段の学校生活とは一味違った体験プログラムを提供している。今年度は地域の方に畑を借りてジャガイモの植え付けから収穫までを体験したり、毛糸を使った「ポンポンマスコット作り教室」を開催した。 子どもたちは異学年との交流を楽しみながら、どの活動にも皆真剣に取り組んでいる。			



〔学習後に将棋を楽しむ参加者〕



〔ジャガイモ植え体験〕

羽生市基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計44名)	実施校区の学校代表者6名、 放課後児童クラブ関係者5名、 実施校区住民の代表者6名、 PTAの代表者6名、 社会教育関係者6名、 児童福祉の代表者3名、 教育長推薦12名		
検討内容	・今年度の活動報告について ・来年度の募集について ・来年度の活動内容について		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 連携型 4教室 (内、校内交流型 2教室) 参考：放課後児童クラブ 10箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	18日
主な対象学年	4～6学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	86人	ボランティア数	34人
平均参加児童数	7.5人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

放課後子供教室・東部地区

久喜市・わしの子ゆうゆうプラザ

活動場所	特別教室・校庭・体育館	参加者数	登録児童数	1 1 9 人
参加対象	1 ～ 6 学年		1日平均参加者数	人
連携団体	鷺宮小学校 P T A ・ 鷺宮西地区コミュニティ協議会			
プログラム例	写真・外あそび・科学実験・工作・そろばん・手芸・バドミントン・ダンス・ヨガ・ボッチャ・P T A 祭・地域交流祭・ゆうゆうコラボ・ゆうゆうプラザフェスティバル i n W A S H I N O M I Y A			
特徴的な活動内容と成果	13年目を迎えた令和6年度は鷺宮小学校全児童294人に対し、119人の児童が参加し、参加率は40.5%でした。 今年度初めての試みとしてGoogleフォームを使っでの参加申し込みを行い、前年度よりも多い参加申込みと事務作業の軽減に繋げることができました。 また、ダンス講座では、市内での生涯学習に係る一大イベント「まなびすと久喜」に2年連続で出演し、ポンポンを使ったダンスで観客の注目を集めました。 そのほか、他団体とのコラボ企画であるPTA祭・地域交流祭、フェスティバルではボッチャを広範囲の年齢層に体験してもらったり、科学実験・工作講座のスライムではたくさんの参加者に楽しみながら固まる構造についての学習をしてもらいました。			



〔ゆうゆうフェスティバル in WASHINIMIYA〕



〔生涯学習推進大会「まなびすと久喜」〕

久喜市基本情報

運営委員会名	久喜市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計36名)	社会教育委員1名、市内校長会1名、スポーツ推進委員1名、学童保育運営協議会1名、スポーツ少年団1名、子ども会育成連合会1名、民生委員・児童員協議会1名、レクリエーション協会1名、PTA連合会1名、婦人会連合会1名、青年会議所1名、生涯学習推進者2名、各教室実施委員長21名、生涯学習課長、行政関係者2名		
検討内容	・事業計画の策定 ・夏季運営対策 ・けがの予防 ・保険 ・次年度の活動予定		
放課後子供教室 実施数	21教室 児童クラブとの連携情報 連携型21教室 (内、校内交流型21教室) 参考：放課後児童クラブ 22箇所		
対象学校区	21校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	21人
登録児童数	2,785人	ボランティア数	2,397人
平均参加児童数	2,687人	1日当たりの 平均スタッフ数	8人/教室

放課後子供教室・東部地区

三郷市・さくらんぼキッズ

活動場所	教室・校庭・体育館	参加者数	登録児童数	27人
参加対象	2～6学年		1日平均参加者数	25人
連携団体	PTA関係者・地域住民			
プログラム例	宿題・キャンドル作り・カプラ大会・シャボン玉遊び 等			
特徴的な活動内容と成果	さくらんぼキッズは、地域住民の協力のもと、児童が安心・安全に過ごせる体験活動を行うための場を提供している。 毎回30分の宿題タイムの後、体験活動を楽しむプログラムを実施している。体験活動の内容としては、ジェルキャンドル作りやカプラ大会等の屋内活動の他、鬼ごっこやシャボン玉遊び等の屋外活動まで幅広く、活発な雰囲気の中、体験活動を行った。また、毎回の活動の終盤に絵本の読み聞かせの時間を設けている。 児童にとって、年齢の離れた地域のスタッフや他学年の児童と交流する貴重な世代間交流の場を提供することができている。			



〔ジェルキャンドル作り〕



〔絵本の読み聞かせの様子〕

三郷市基本情報

運営委員会名	三郷市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計12名)	地域住民の代表者1名、社会教育関係者2名、各教室の代表者4名、子育て支援団体の代表者1名、PTA代表者1名、学校教育担当課長1名、こども家庭センターセンター長1名、学校教育担当者1名		
検討内容	・事業の運営方法 ・今年度の活動状況 ・次年度の活動予定		
放課後子供教室 実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 連携型 4教室 (内、校内交流型 4教室) 参考：放課後児童クラブ 19箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	8日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	28人
登録児童数	80人	ボランティア数	人
平均参加児童数	18人	1日当たりの 平均スタッフ数	5～6人/ 教室

放課後子供教室・東部地区

蓮田市・「ひらりんきっず／ひらりんすたでい」				
活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	65人
参加対象	2～6学年		1日平均参加者数	33人
連携団体	—			
プログラム例	自由遊び、スポーツ、宿題 等			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、子供たちの安心・安全な放課後の居場所づくりを目的に、様々な活動を行っている。自由遊びを中心とした「ひらりんきっず」と、学習支援を中心とした「ひらりんすたでい」の2つのプログラムを実施している。 「ひらりんきっず」では、子供たちの主体性を育むため、自分たちで考えて自由に過ごす時間とし、「ひらりんすたでい」では、苦手意識が克服できる学習の場づくりに努めている。安心・安全な環境で様々な活動ができることから、保護者からは好評を得ている。 令和6年度は、新たに消防署と連携し、地域の見回りや体験を通して子供たちの防災意識の向上を図る「ひらりん消防団」を開催した。			



ひらりん消防団の様子



防災に関するクイズに挑戦

蓮田市基本情報			
運営委員会名	蓮田市放課後子供教室推進事業運営委員会（蓮田市社会教育委員会議）		
構成役職（合計7名）	学校教育関係者（蓮田市小・中学校長会）、社会教育関係者（蓮田市子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト蓮田第1団、蓮田市スポーツ推進員連絡協議会）、家庭教育関係者（民生委員・児童委員協議会）、学識経験者（蓮田市議会議員）		
検討内容	・ 蓮田市の社会教育事業について ・ 放課後子供教室の推進について		
放課後子供教室実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 連携型 4教室 （内、校内交流型 3教室） 参考：放課後児童クラブ 9箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	31人
登録児童数	288人	ボランティア数	1人
平均参加児童数	75人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室

放課後子供教室・東部地区

吉川市・放課後子ども教室				
活動場所	ふれあいホール、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	92人
参加対象	1～6 学年		1日平均参加者数	82人
連携団体	—			
プログラム例	かけっこ教室、ハンドボール教室、にゃんたぶうステージ等			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、放課後に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、「志を持った子どもたちを育てる」という理念の下、スポーツ、工作などの体験型学習、地域住民との交流活動などを、地域や学校などと連携を図りながら次世代を担う子どもの健全育成を支援することを目的としている。 保護者からは、「放課後子ども教室のおかげで他学年との関わりができたため、他の曜日も放課後に学校へ行き、よく遊ぶようになった」という意見をいただいている。			



〔ハンドボール教室〕



〔にゃんたぶうステージ〕

吉川市基本情報			
運営委員会名	吉川市放課後子ども教室事業運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	学童保育室関係者1名 放課後子ども教室関係者1名 社会教育関係者1名 三輪野江小学校PTA1名 三輪野江小学校教頭1名 教育委員会職員2名 保育幼稚園課職員1名		
検討内容	・1年間の活動内容について (実施プログラムの説明等) ・安全確保・保護者送迎場所の確認等		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 1 教室 (内、校内交流型 1 教室) 参考：放課後児童クラブ 8箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	23日
主な対象学年	1～6 学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	92人	ボランティア数	6人
平均参加児童数	82人	1日当たりの 平均スタッフ数	10人/教室

放課後子供教室・東部地区

白岡市・菁莪小学校放課後子ども教室

活動場所	多目的室、体育館、特別教室、校庭	参加者数	登録児童数	36人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	18人
連携団体	スポーツ推進委員連絡協議会、社会教育関係団体 等			
プログラム例	モルック教室、ボッチャ教室、ドッチビー、工作、漢字釣り等			
特徴的な活動内容と成果	本教室は、放課後に、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、様々な体験・交流活動の機会を提供することを目的とし、実施している。 令和6年度は、参加希望者数が多かったため、1～3年と4～6年生に分け、それぞれ月1回実施しており、プログラムは子ども同士が交流できるものを企画している。 また、学童保育所とも連携し、学童保育所から放課後子ども教室に参加する児童の受け入れや引き渡しを行っている。 保護者からは、同級生だけでなく異学年の児童たちとの交流や家庭でのコミュニケーションが増えた、普段体験できない経験ができた、地域の方々がしっかり見守ってくれるため安心できるなど、好評を得ている。			



〔モルック教室〕



〔ボッチャ教室〕

白岡市基本情報

運営委員会名	白岡市放課後子ども教室運営会議 (白岡市社会教育委員会議)		
構成役職 (合計14名)	学校教育関係者2名、社会教育関係者4名、家庭教育関係者4名、学識経験者2名、公募2名		
検討内容	・事業計画及び活動プログラムに関する事 ・安全管理方策、広報活動方策、人材確保方策に関する事 ・事業実施後の検証及び評価等に関する事 ・その他事業の運営に関し必要な事項に関する事		
放課後子供教室 実施数	3教室 児童クラブとの連携情報 連携型 2教室 (内、校内交流型 2教室) 参考：放課後児童クラブ 12箇所		
対象学校区	3校	平均開催日数	13日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	3人
登録児童数	94人	ボランティア数	21人
平均参加児童数	52人	1日当たりの 平均スタッフ数	8人/教室

放課後子供教室・東部地区

杉戸町・杉戸第二小学校わくわく教室

杉戸町・杉戸第二小学校わくわく教室				
活動場所	校内わくわく教室	参加者数	登録児童数	42人
参加対象	1～4学年		1日平均参加者数	21人
連携団体	—			
プログラム例	万華鏡、ハロウィン飾り、クリスマス飾り等の作成 等			
特徴的な活動 内容と成果	本教室は「わくわく教室」の愛称のもと実施している。 子供たちの居場所を確保するとともに、地域間交流、異世代間交流の機会を与え、子供たちの安全・安心できる環境づくりを目指している。 今年度は、参加者を1・3年生と2・4年生の教室に分けて、各21人で合計42名で実施。 参加した児童は、下級生の児童と一緒に仲良く作品作りをする姿が見られた。			



〔ハロウィンお楽しみ会〕



〔クリスマスお楽しみ会〕

杉戸町基本情報

運営委員会名	杉戸町放課後子供総合プラン運営委員会		
構成役職 (合計14名)	学校関係者(学校長)3名 放課後子供教室代表6名 放課後児童クラブ関係者1名 地域住民1名、PTA関係者1名 行政関係者2名		
検討内容	・放課後子供教室の前年度実施状況 ・本年度実施計画について ・放課後子供教室事業予算について		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 1教室 (内、校内交流型 1教室) 参考：放課後児童クラブ 10箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	25日
主な対象学年	1～4学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	42人	ボランティア数	1人
平均参加児童数	20人	1日当たりの 平均スタッフ数	4人/教室

放課後子供教室・東部地区

松伏町・放課後子ども教室				
活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	27人
参加対象	1～6学年		1日平均参加者数	21人
連携団体	学校応援団、埼玉土建			
プログラム例	宿題、ボードゲーム、折り紙、スポーツ			
特徴的な活動 内容と成果	放課後において、小学校の施設を利用し、子どもたちの安全で安心な活動拠点を設け、地域社会の中で異年齢の子どもや大人との交流並びに子どもたちの体験活動を通じ、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに、地域の結びつきや地域の教育力の活性化を図ることを目的とする。 学童クラブとの一体型の取り組みは、ドッジビー、スナッグゴルフ、木工教室を行っている。 地域の歴史や文化を知り、郷土愛を育成するため「まつぶし郷土かるた」取りを行っている。 児童の安全のため、終了後（16：30）には保護者のお迎えを必須としている。			



学童合同スナッグゴルフ



空気砲作り

松伏町基本情報			
運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 9名)	同教室コーディネータ2名 教育文化振興課職員2名 学童クラブ1名 学校応援団1名 PTA会長1名 校長1名 同教室指導員1名		
検討内容	・子ども教室の実施計画に関すること。 ・子ども教室の計画推進に関すること。 ・放課後学童クラブと子ども教室の連携方策に関すること。 ・その他事業実施に必要な事項の検討及び運営に関すること。		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 連携型 1教室 (内、校内交流型 1教室)		
対象学校区	1校	平均開催日数	51日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	3人
登録児童数	27人	ボランティア数 (教育活動推進員)	9人
平均参加児童数	21人	1日当たりの 平均スタッフ数	5人/教室